

# 比嘉・伊計・津堅・平敷屋 ハーリー大会

真夏の太陽が照りつける中、6月18日与勝地域の比嘉、25日津堅、7月2日伊計、16日平敷屋の各漁港や浜でハーリー大会が開催されました。地域色にあふれる各大会には、県内各地から多くのチームが参加。恒例の銅鑼や指笛が会場中に響き渡る中、折り返しでの駆け引き、一糸乱れぬカイヤバキと海面を疾走するハーリー舟の醍醐味に歓声が沸き起こっていました。

今やうるま市与勝地域のハーリー大会は夏の風物詩として地域の一大イベントになっています。



▲比嘉ハーリー大会より



▲伊計島ハーリー大会より



▲津堅島ハーリー大会より



▲平敷屋ハーリー大会より

## 楽しく学習して、大好きなカブト、クワガタをゲット! 地域フェスティバル開催



▲カブトムシに大はしゃぎの子ども

▼ゴミ分別の方法を真剣に聞く子どもたち



6月24日、25日の両日市与那城多種目球技場で「人・文化・心を次世代へつなぐ架け橋イベント」として地域フェスティバル（大樹の会主催）が開催されました。イベントは、環境クイズやうるま警察署の交通安全指導を受けた子どもたちが抽選券にスタンプを押してもらい、人気のカブトムシやクワガタが、ゲットできるというおもしろい企画。

会場には、人気のカブトムシを目当てに多くの子どもたちや親子連れが集まりました。抽選会は、ジャンケン勝ち抜き戦で見事6人の子どもたちが勝ち抜き、カブトムシやクワガタを手にして満足げな顔をしていました。フリーマーケットやチャーンなどの展示のほかイベント広場では闘牛大会も行われました。

## 市消防団 紙芝居で防火普及活動



▲子ども達へ紙芝居で防火を呼びかける市消防団

うるま市消防団は平成16年（平成16年は旧具志川のみ）から防火普及活動の一環として、市内の保育所・幼稚園・小学校を訪れ大型紙芝居を通して防火の普及に力を入れています。

写真は6月28日（水）に田場小学校4年生教室にて実施している風景です。



▲大臣賞受章の報告に訪れた仲喜洲クリーン隊の関係者

第17回全国「みどりの愛護」のついでに功労者国土交通大臣表彰を受けた仲喜洲クリーンデー実行委員会の皆さんが7月4日、知念市長を訪ね受賞の喜びを報告しました。

同実行委員会は、中原小学校、高江洲中学校、高江洲小学校3校の子どもたちと一緒に、同校のスクールゾーンとなっている県道16号線で清掃活動が続けています。最初は300人程の参加者でしたが、活動を始めて11年目となる現在は、約1500人のボランティアが参加しているとのこと。

## 仲喜洲クリーン隊 大臣表彰受ける